

六月二十四日



山崎 直史 (自民党)

●地域医療連携

●多摩病院の取り組みは。

●地域医療機関からの紹介による外来診療を基本として医療機関情報のデータベース化、高度医療機器の利用受け入れなど連携の強化に取り組んでいる。

●縦貫高速鉄道線と横浜市宮三号線延伸

●二路線を同時に推進できないか。



織田 勝久 (民主党)

●情報公開条例と個人情報の扱い

●防災や防犯の団体名簿などの情報提供のあり方をルール化するべきでは。

●麻しん予防接種の接種時期

●前倒し実施は任意の予防接種となり予防接種法に基づき補償などが適用されないなど、課題の整理が必要である。



吉岡 俊祐 (公明党)

●あんしん歩行エリア事業

●事業完成後の新たな整備について

●歩行者と車両の分離を推進すべきでは。

●教員への研修体制



大庭 裕子 (共産党)

●商店街の支援

●商店街で青年部やおかみさんが広く活動しているが、青年部への支援は。

●講演や研修をはじめスポーツや文化の交流事業などを行っているが、新たに二十年度から商店街若手リーダー育成事業の実施を予定している。



市内の商店街

●高次脳機能障害

●障害を市民に周知し理解を広げべきだが啓発活動の進め方は。

●講演会を実施し啓発しているが、引き続き講演会開催や啓発用チラシを配布し市民の理解が深まるよう努めていく。



山口 和子 (神奈川ネット)

●小学校給食

●学校給食会の役割や、予算、決算今後のあり方も広報し、保護者の理解を求めていることが必要と考えるが。

●市の広報や学校給食会のホームページで財政状況なども詳細に伝えたい。



給食の風景

●公共施設のCO2削減

●CO2排出抑制の進捗状況は。

●二十年度は太陽光発電のグリーン電力証書を購入しカーボンオフセットを行うなどのモデル事業を実施し、庁内省



石田 康博 (自民党)

●橋りょうの安全対策

●予防保全に向けた点検状況は。

●主要な橋の定期点検が二十年度に完了予定で、この結果などをもとに橋りょうの長寿命化修繕計画を策定し、事後的な補修から予防的な維持管理を進める。

●指定管理者制度

●施設の管理責任の考え方は。



堀添 健 (民主党)

●二ヶ領用水

●二十三年三月の完成四百周年への取り組みは。

●四百周年という節目を契機に二ヶ領用水をアピールすることは意義があり、市民の参加と協働による取り組みが行われるよう関係局・区と連携を図る。



二ヶ領用水

●動物愛護

●地域ねご活動の推進方策は。

●地域ねご活動の推進方策は。

●特別養護老人ホーム

●第一期実行計画での整備内容は。

●人事評価制度

●個人情報の取り扱い

●個人情報保護の重要性だが過剰反応も見られるのでは。市の見解は。

●早野地区農業振興地域活性化検討会議

●十九年十二月に発足したが、検討経過と方向性の取りまとめの期限は。



市川 佳子 (民主党)

●市市納債権対策

●都市整備事業基金の有効活用

●市民からの寄附金を基金に積み立て、まちづくりを活用する仕組みについてどう考えるか。

●理化学研究所との連携

●多摩川の生態系を学ぶおさかなポスト

●おさかなポストは多摩川の生態系の維持保全の観点から有意義である。さまざまな機会に取り組みを紹介するとともに、今後は環境局に相談窓口を設置し河川環境の保全に努めていきたい。



浅野 文直 (自民党)

●市営住宅の防火体制

●火災発生を他の住人に知らせるための火災報知器設備が必要では。

●地域ポータルサイト

●運営会社などから行政情報の提供依頼があった場合の対応は。



飯塚 正良 (民主党)

●川崎社会保険病院

●独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構に移管し運営される。国有財産である土地と建物などは同法人に現物出資される見込みである。

●市民交番

●市民交番への支援策は。

●自転車利用者のマナー向上策

●市基本協定を締結したが目的は。

●産業創出や医療の充実など研究成果を社会還元するために協定を十九年十二月に締結し、川崎病院で遺伝子診断技術を活用した臨床応用研究を開始した。



岩崎 善幸 (公明党)

●市基本協定を締結したが目的は。

●川崎駅東口周辺地区を対象に七月に(仮称)川崎駅東口周辺地区・総合的自転車対策検討会議を設置して二十年度の東口駅前広場再編整備と併せて実効性のある対策を講じていく。

●介護支援ボランティア制度

●川崎らしい制度の導入は。

●第四期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の中で先進都市の調査を行い考え方や実施方法などの課題を計画策定協議会で検討していく。

用語の解説

カーボンオフセット CO2などの温室効果ガスの排出について、まず排出を削減する努力を行った上で、削減困難な排出量を他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせることを行います。
おさかなポスト 食べなくなったペットの外來魚などの放流に対応するため、受け入れを目的に設けられた水槽のことで、稲田公園に設置されています。
市民交番 地域住民が自主的に管理、運営してパトロール活動などを行う、地域防犯活動の拠点です。
介護支援ボランティア制度 高齢者の社会参加を促し介護予防につなげることを目的として、高齢者自身がボランティアとして介護に参加することです。ボランティア活動に応じてポイントが得られ、蓄積したポイントは介護保険料などに充てることができる。